

表紙共 8 枚

健軍ボイラー洗缶役務

件名	健軍ボイラー洗缶役務				作成年月日	R7.3.6	
業務隊長	管理科長	営繕班長	工事企画	管財	施設管理		作成者
所属	陸上自衛隊 健軍駐屯地業務隊 管理科						

仕 様 書

件名	健軍ボイラー洗缶役務	所 属	健軍駐屯地業務隊 管理科
		作成年月日	令和7年 3月 6日
		作成者	防衛技官 田尻 裕介

1 総 則

本仕様書は、「健軍ボイラー洗缶役務」について適用する。

2 場 所

熊本県熊本市東区東町1-1-1 陸上自衛隊健軍駐屯地内

3 概 要

本役務は、炉筒煙管ボイラー2基及び温水ボイラー1基の洗缶整備を実施する。

4 一般事項

- (1) 本役務は、本仕様書による他、関係法令に基づき実施すること。
- (2) 隊員もしくは部外者等に損害を与えた場合、又は施設等を破損した場合で、その原因が本役務に関わると認められた場合、請負業者が補償及び賠償の責を負うこと。
- (3) 本役務の安全管理については、請負業者の負担と責任において実施すること。
- (4) その他疑義が生じた場合は、監督官と調整の上実施すること。

5 特記事項

- (1) 炉筒煙管ボイラーの規格及び洗缶整備実施要領は次項のとおりとする。

日程は監督官との調整による。

ア 炉筒煙管ボイラー規格（1号缶、2号缶共通）

メーカー型式	川重冷熱 KS-60
伝熱面積	71.9m ²
最高使用圧力	0.98Mps
安全弁設定圧力	0.98Mps
常用圧力	0.9Mps
煙 管	62本（外径60.3mm、厚さ3.2mm）
管ステー	13本（外径60.3mm、厚さ4.5mm）
付属品	安全弁、水面計、主蒸気弁、ヘッダーバルブ等

イ 洗缶整備は、別図に示す水室部、燃焼室、煙管、煙室及び付属品の分解整備とし、部隊で別途実施されるボイラー性能検査前に実施する。なお、分解整備後の組立復旧、試運転及び安全弁の吹出テストは、ボイラー性能検査後に実施する。細部は下表及び監督官との調整によるものとする。

ボイラー	洗缶整備	ボイラー性能検査	復旧・試運転等
1号缶	別途調整	令和7年10月頃	別途調整
2号缶	令和7年5月17～20日	令和7年5月23日	令和7年5月29日

ウ 洗缶整備は、スケール、煤、灰及び錆等を除去し、ボイラー性能検査に合格できる状態（監督官が示す仕上がり状況写真を参考）に仕上げるものとする。

エ 発生した煤等の除去物は、請負者の付帯において適正に処分を行うものとする。

(2) 温水ボイラーの規格及び洗缶整備実施要領は次項のとおりとする。

ア 温水ボイラー規格

メーカー型式	昭和鉄工 SV-8003A-WH
伝熱面積	20.9 m ²
定格出力	776,000 Kcal/h
燃種、消費量	A重油、99 L/h
バーナー型式	YL-160HA

イ 洗缶整備は、別図に示すバーナー、オイルストレーナー、温水配管用ストレーナー、燃焼室、煙管群及び煙道の分解整備とする。整備後は組立復旧及び試運転を行う。

ウ 実施時期は、令和7年5月17日から12月21日までの間の土・日曜日及び祝日を基準とし、細部は監督官と調整を行うものとする。

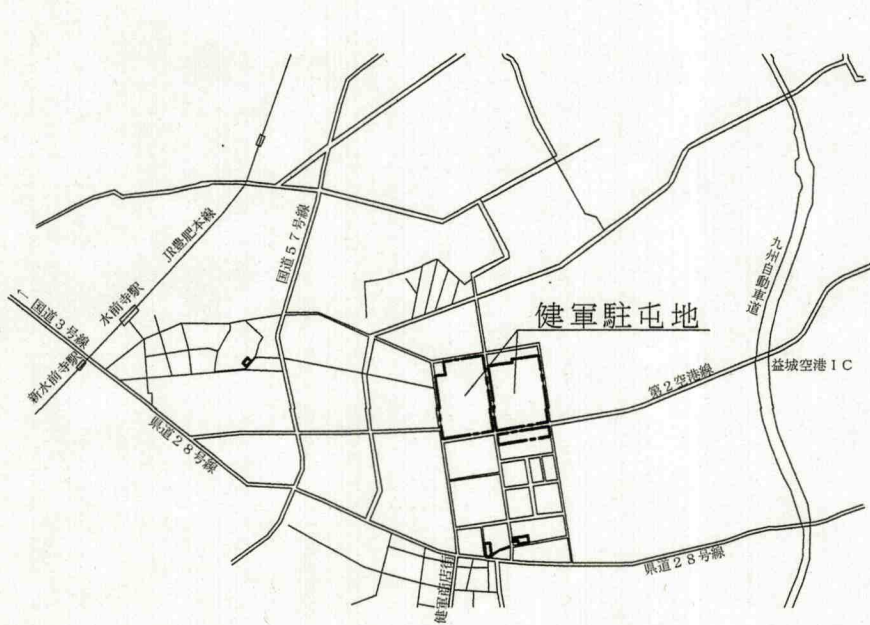
エ 発生した煤等の除去物は、請負者の負担において適正に処分を行うものとする。

6 提出書類

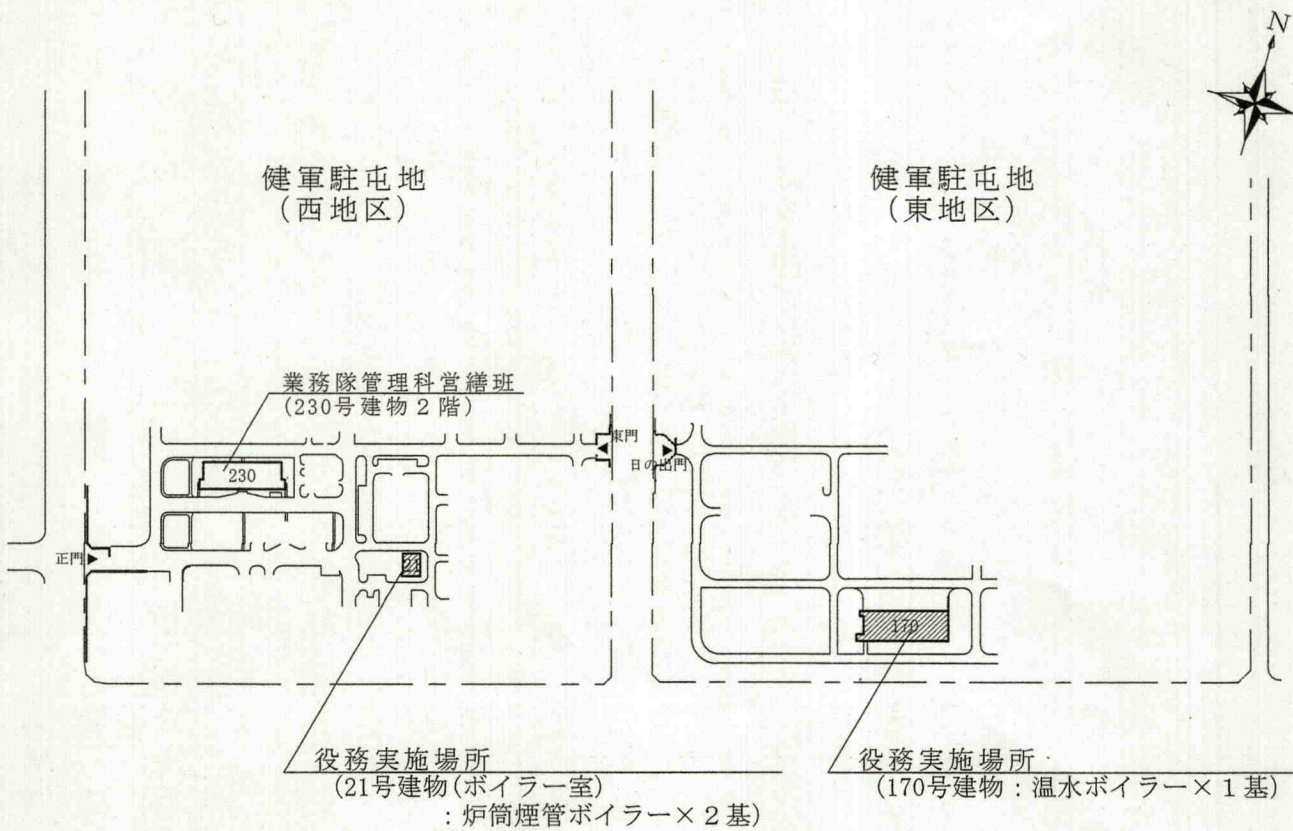
- (1) 着工届、完成届
- (2) 工程表
- (3) 役務写真

写真は、作業前・作業中・作業完了後の写真を撮影し、工事写真帳（A4）に整理して2部提出すること。

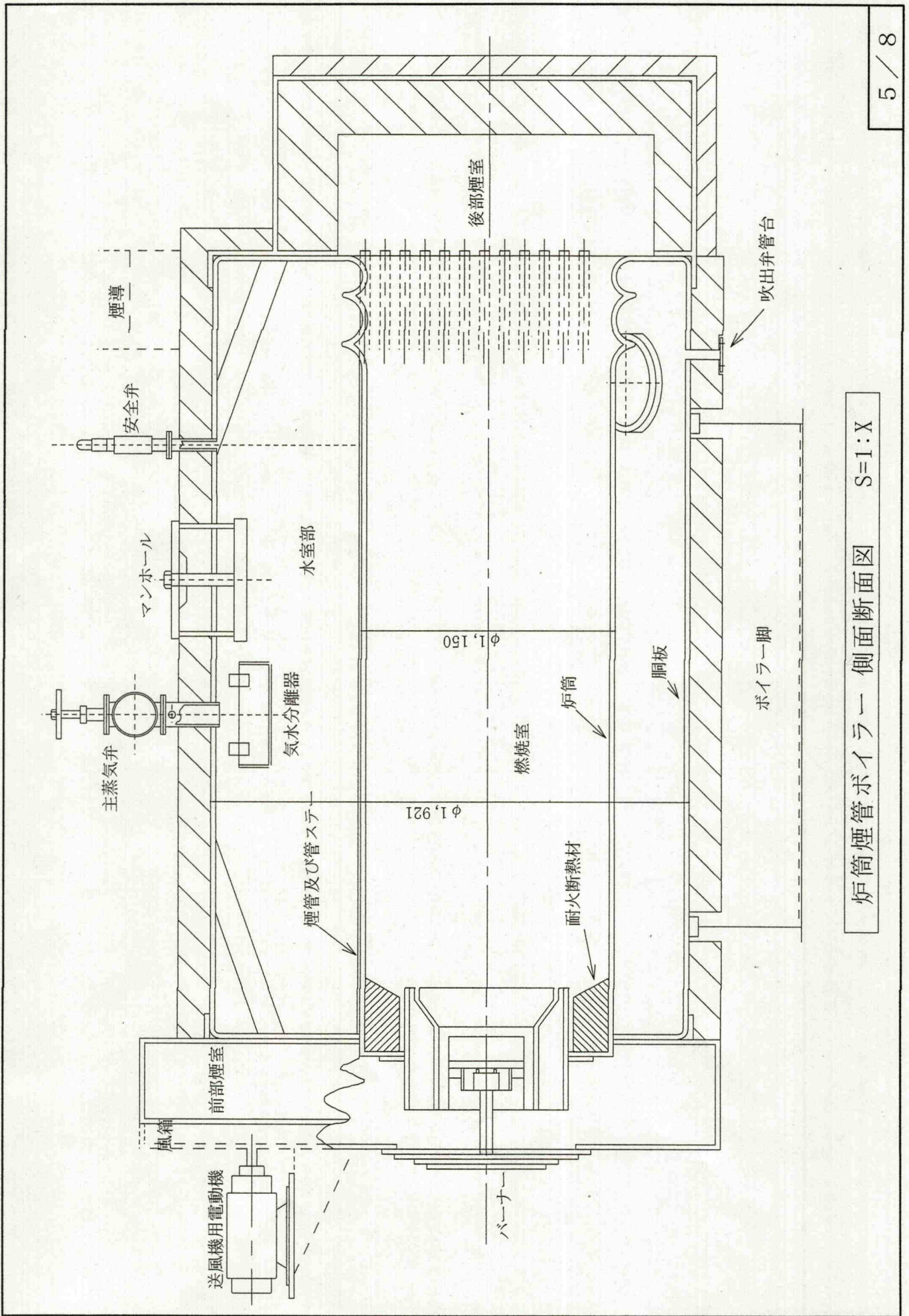
- (4) その他監督官が指示する書類



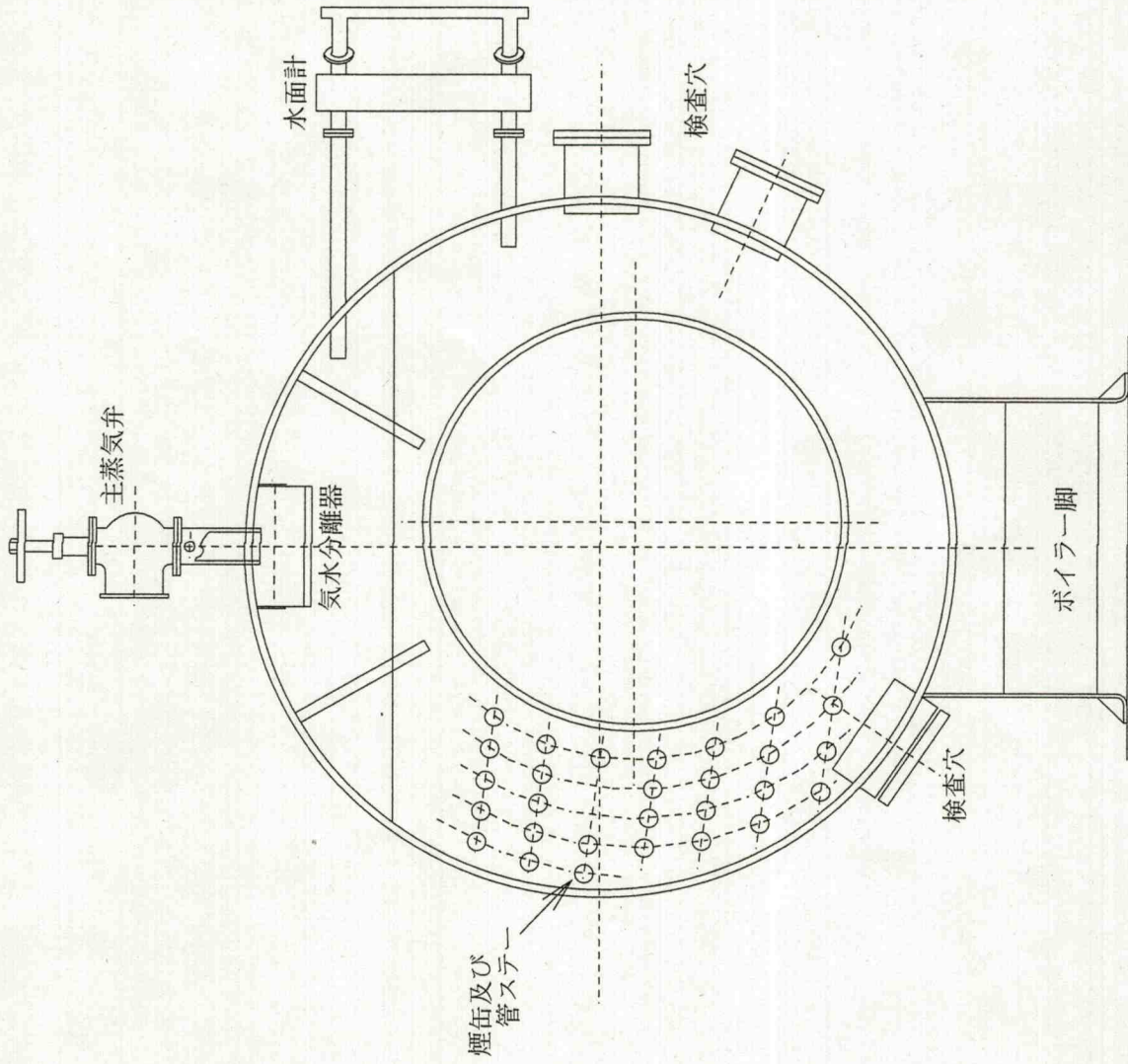
案内図 S=1:X



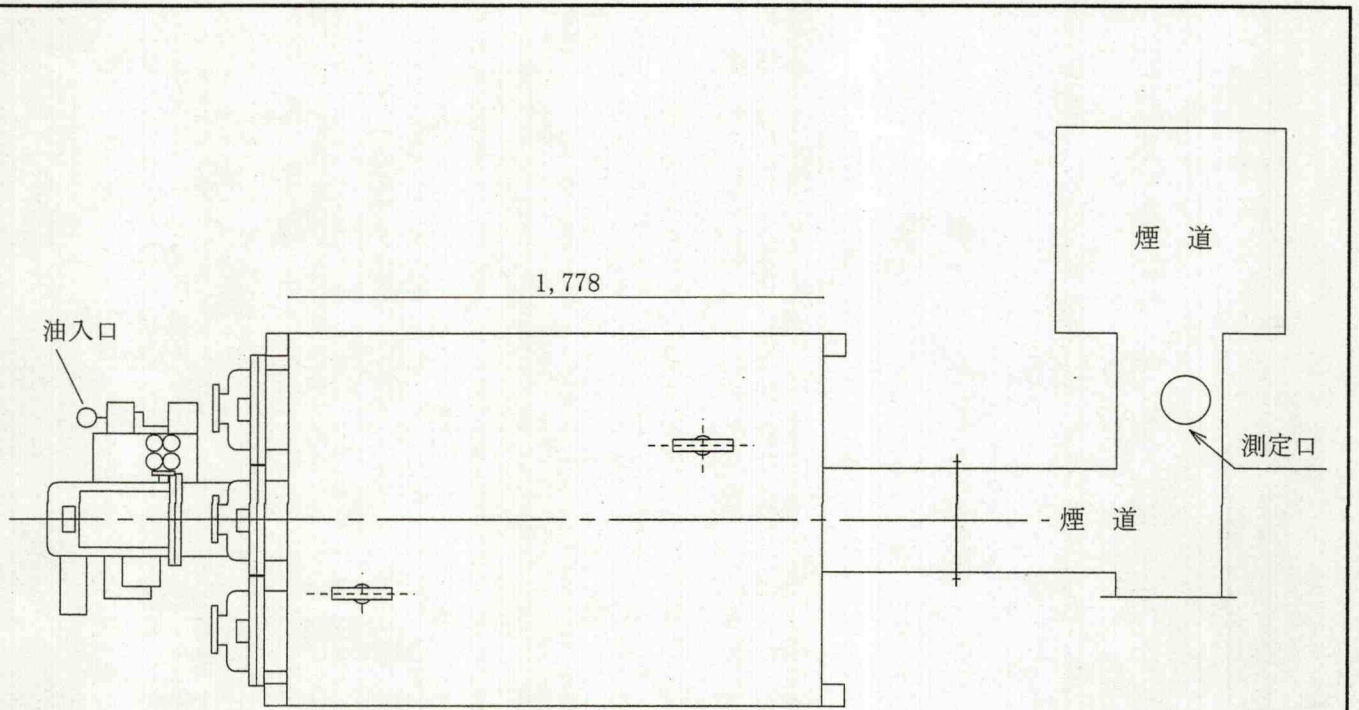
配置図 S=1:X



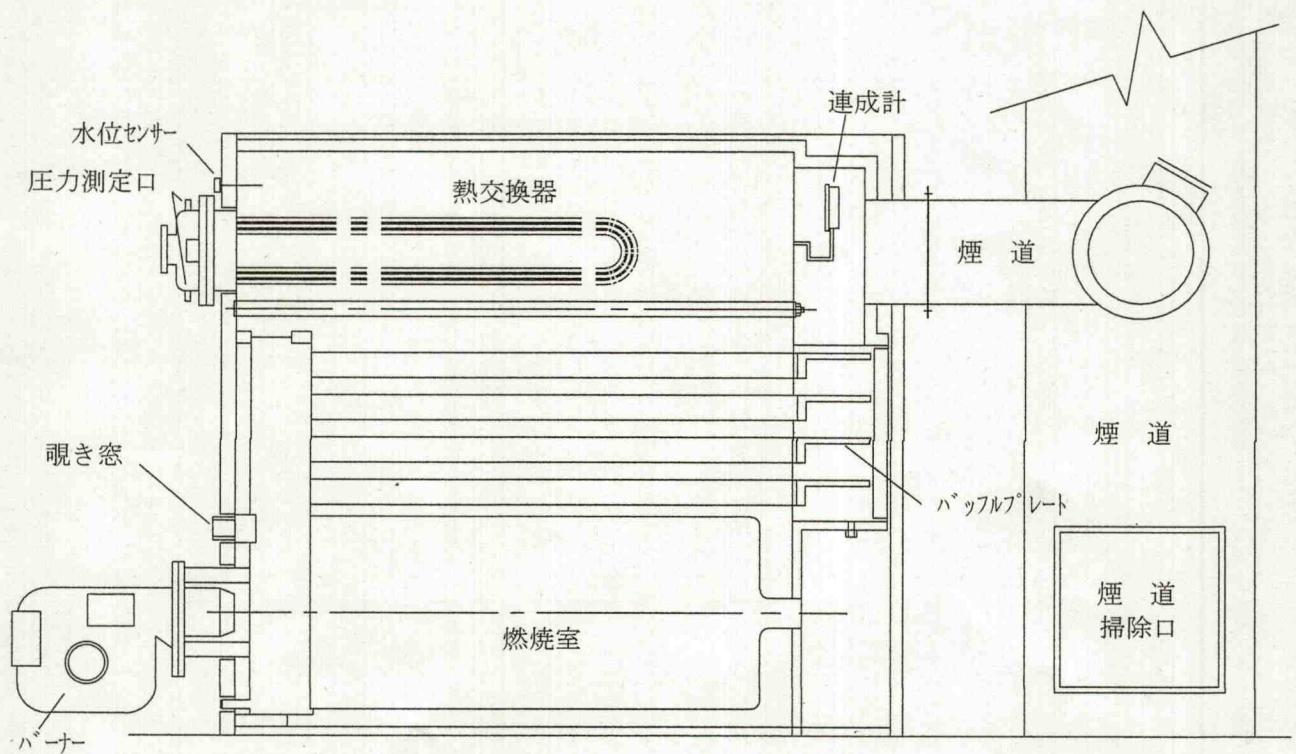
炉筒煙管ボイラー 側面断面図 S=1:X



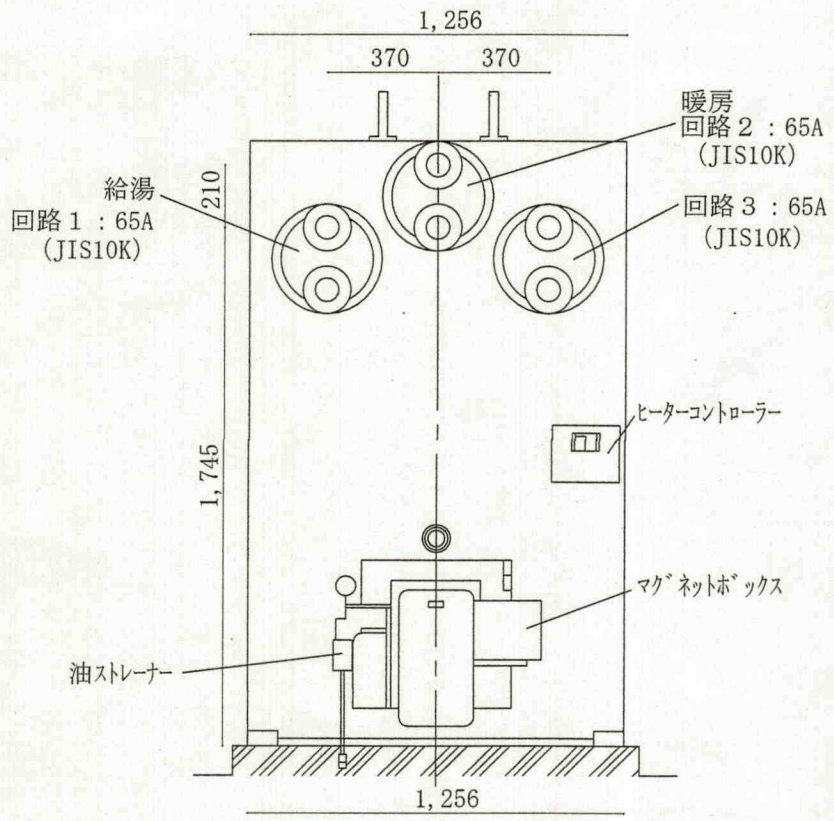
炉筒煙管ボイラー 正面断面図 S=1:X



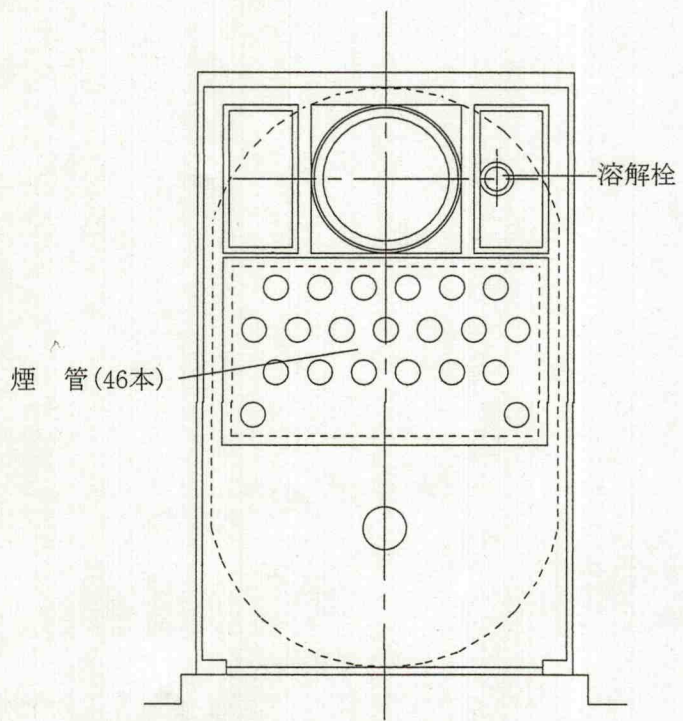
温水ボイラー 平面図 S=1:X



温水ボイラー 側面断面図 S=1:X



温水ボイラー 前方断面図 S=1:X



温水ボイラー 後方断面図 S=1:X